

◎伊勢志摩サミットに係る経済効果等の最終試算結果を発表しました

直接的な 経済効果 ※1

約 1,070億円!

内訳

〔 県内 約483億円 〕
〔 県外 約587億円 〕

※1 サミット関連事業に関する経費として、国・県(市町含む)の予算及び民間投資のうち、県内外において直接生じる費用をもとに試算

パブリシティ効果 ※2

約 3,098億円!

内訳

〔 国内 約1,874億円 〕
〔 海外 約1,224億円 〕

※2 伊勢志摩サミットに関する報道を、広告料金やCM料金等に換算

ポストサミットの 経済効果 ※3

約 1,489億円!

内訳

〔 県外観光客数の増加
約1,485億円
国際会議の開催件数の増加
約4億円 〕

※3 平成28年～32年の5年間の経済効果を、上記2つの要素で試算

※試算結果の詳細、試算方法等はこちら<http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0030500022.htm>

今回の結果はあくまでも試算ですが、サミット開催による経済効果等は非常に大きいものとなりました。県全体の試算ですので、実感とは異なるとお考えになる方もいらっしゃると思います。県民会議及び三重県としても、そのような部分を引き続きしっかりと把握し、真摯に受け止めていかなければならないと考えています。いずれにしても、大事なことは、この効果を実現していくこと、そしてそれを県民の皆さんに実感していただくことです。

サミットはチャンスに過ぎません。今後、県民の皆さん一人ひとりにそのチャンスを生かしていただくことが重要だと考えています。

三重県としても、このチャンスを生かし、多くの県民の皆さんに「サミットを開催してよかった」と実感していただけるよう、今後も様々なポストサミット事業を展開していきます。

◎「認知症サミット in Mie」の参加者を募集しています

「ものづくり先端技術が支える認知症のひとと地域の共生」をテーマに開催する、「認知症サミット in Mie」の参加者を募集しています。参加お申し込みは9月30日(金)までです。ぜひ、ご参加ください!

開催日: 10月14日(金)、15日(土) ※一般参加は14日のみ

場所: (14日)四日市市文化会館 (15日)四日市都ホテル

申込方法等詳細はこちら <http://www.medic.mie-u.ac.jp/neurology/summit/index.html>

会場で「もの忘れ度チェック(認知症ITスクリーニングお試し版)」を実施します(事前申込要)

◎「みえの食国際大使」を委嘱しました

サミットでは多くの県産食材が活用されました。この県産食材の魅力を伝えるために、国内外で実績のあるトップシェフの方々に「みえの食国際大使」を委嘱し、県内外の国際行事等での県産食材の活用に取り組んでいきます。

【みえの食国際大使】

- 三國清三 氏 (オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ)
- 徳岡邦夫 氏 (京都吉兆 総料理長)
- 脇屋友詞 氏 (wakiyaグループ オーナーシェフ)



みえの食国際大使委嘱式の様子
9月9日(金)、鈴鹿サーキットホテル
サクラホールにて

◎「伊勢志摩サミット三重県民宣言(仮称)」を取りまとめていきます

サミットの成果を次世代に引き継ぎ、誰もが幸せを実感できる三重へとつなげていくことをめざし、県民の皆さんが将来にわたってアクティブ・シチズンとしてさらに活躍していただくため、「伊勢志摩サミット三重県民宣言(仮称)」を取りまとめます。今後、懇話会での議論やSNSを通じて、皆さんのご意見をお伺いしていきます。

【発行元】伊勢志摩サミット三重県民会議事務局 総務課 (三重県津市広明町13番地 三重県庁7階)

電話 059-224-2646 FAX 059-224-2075 メール summit@pref.mie.jp

伊勢志摩サミット終了後に関するHPはこちら <http://www.pref.mie.lg.jp/common/05/ci400012607.htm>